

あこが馬

水桜学園(第四中学校・水桜小学校)
学校づくり委員会だより
2025年9月8日(月)

みらい がっこう わたし て
未来の学校を私たちの手で!

第1回 学校づくり委員会が開催されました

しょうがくせい ちゅうがくせいやく めい つど あたら がっこう みらい じぶん つく だい
9月3日、小学生と中学生約40名が集い、新しい学校の未来を自分たちで創る「第
かい がっこう いいんかい かいさい かい こ しゅたい
1回 学校づくり委員会」が開催されました。この会は、子どもたちが主体となり、これか
ら がっこうせいかつ よ たいせつ だいっぽ
らの学校生活をより良くしていくための大切な第一歩です。



■ 「ルール」って、なんのためにあるんだろう?

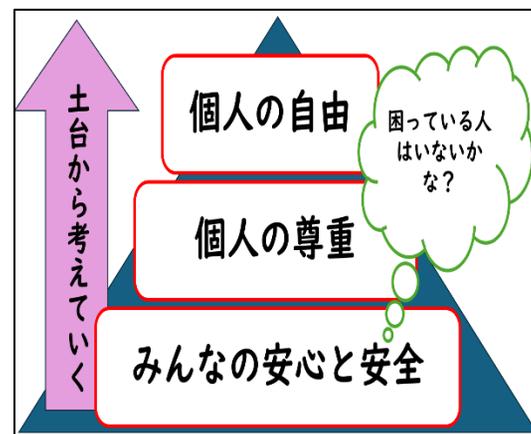
いいんかい なに こんぼんてき と はな あ たいわ とお
委員会のはじめに、「そもそもルールとは何か?」という根本的な問いから話し合いがスタートしました。対話を通し
て、以下の3つの大切な原則をみんなで確認しました。



- Point① ルールは、お互いの自由を守り、認め合うためにある。
- Point② すべてのルールには、作られたときの目的がある。
- Point③ 今の状況と合っていない場合、ルールは変えていく必要がある。

■ 「誰一人置き去りにしない」を大テーマに

ほんいいんかい かつどうぜんたい つらぬ だい だれひとりお ぎ
本委員会の活動全体を貫く大テーマは「誰一人置き去りにしない」です。そ
こじん じゆう あんしん あんぜん こじん そんちょう どだい な
して、個人の自由とは、「みんなの安心と安全」と「個人の尊重」を土台に成
り立つこと、ということ全員で確認しました。



■ 5つのチームで活動スタート!

このテーマを実現するため、以下の5つのチームに分かれ、具体的な検討を始めました。

- ①制服チーム ②見た目チーム ③持ち物チーム ④時間チーム ⑤空間チーム

各チームでは、「何が課題か?」「どう変えたら解決するか?」「どんな未来を見たいか?」という視点で仮説を立て、その仮説について先生や友達、保護者の方々に懸念点(心配なこと)を聞く、という具体的な計画を立てました。



当日は、子どもたち同士はもちろん、子どもたちと先生の間でも活発な対話が生まれ、前向きで温かい雰囲気の中で委員会を終えることができました。今後、各チームはアンケートやインタビューなどの調査活動を進め、より良い学校への提案を作成していきます。

保護者ならびに地域の皆様へ

学校づくり委員会の活動内容と方針について

いつも第四中学校、水桜小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

私たちを取り巻く社会は大きく変化しています。AIをはじめとする技術の進展、多様な文化や価値観を持つ人々との共生、さらには家庭環境や地域社会の変化など、学校に求められる役割も年々広がっています。こうした変化の中で、一人ひとりの子どもが安心して学び、成長できる学校をどのように築くかが大きな課題となっています。

かつての学校教育では、教師が先頭に立ち「厳しい生徒指導」で子どもをぐいぐい引っ張る姿が重視されてきました。しかし今は、それだけでは子どもたちが未来を生き抜く力を育むことはできません。**一方的な指導よりも、子どもと向き合い、対話を重ねることを大切にする教育**へと大きく舵を切っています。

国においても、2023年に発足した**子ども家庭庁**が中心となり、すべての子どもが健やかに育つことを社会全体で支えていく方針が示されています。また、同庁が策定した「こども大綱」では、「子どもの最善の利益」を基本に、**子どもの声を尊重し、誰一人取り残さない社会をめざす姿勢**が打ち出されています。

こうした背景を受け、来年度開校予定の水桜学園でも「**誰一人置き去りにしない学校**」をテーマに掲げています。その実現に向けて今年度から設置しているのが**学校づくり委員会**です。この委員会では、教職員だけでなく、児童生徒・保護者・地域の方々とも意見を交わしながら、学校の在り方や教育活動の方向性について検討していきます。

具体的には、

- ・ 子ども一人ひとりが安心して学べる環境の整備
- ・ 多様性を尊重し、互いの違いを認め合う学校文化の醸成
- ・ 保護者・地域と学校が協働した教育活動の推進

に取り組んでまいります。学校づくり委員会は、「子どもたちにとって最もよい学校とは何か」を常に問い続けながら活動していきます。皆様のご理解とご協力を賜り、共によりよい学びの場を築いていければ幸いです。